

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員



# 井上重久 No.51 だより

平成31年1月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 山崎 龍二 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032

住民投票条例記名投票



住民投票条例の審査では、凍結はいつまでなのか? 市民財源での投資額300億円から400億円の請求者の根拠、来春統一地方選挙を迎えるなかで何故今の時期の請求か? 事業費を超える

## 住民投票条例の審査!

ご家族お揃いで健やかなお正月を迎えるの事とお慶び申し上げます。皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。昨年、長崎市議会環境経済委員会では、市民グループから提出された「長崎市の交流拠点施設(MICE)建設の凍結に関する住民投票条例について」、請求代表者の意見陳述、参考人への質疑、理事者からの説明・理事者への質疑を行い、賛成4、反対5の反対多数で否決、本会議においても、議長を除く記名投票の結果、賛成12、反対25の反対多数で否決しました。

## 交流拠点施設(MICE)建設の凍結に関する住民投票条例否決!

損害賠償請求など質疑が行われました。請求者と理事者(長崎市)の意見については、全般的に見解の相違が多岐に見受けられました。

請求者からは「ほとんどの市民はMICEが何かを知らず、市の財政は厳しくいま一度立ち止まるべき」、理事者からは「交流人口の拡大で雇用の創出と所得の向上を図るとともに市民生活の向上に繋がる」などの見解が示されました。

私たちは、住民投票条例には「議会議事手続きの経過やこれまで議会のなかで十分議論を尽くした」「何もしなければ長崎市の経済・活性化は衰退する」「懸念される課題を一つひとつ解決する」などの意見を述べ、記名投票では委員長報告に賛成し、住民投票条例には反対しました。

## 2019年大型事業が形になる!

2019年は、長崎市が進める長崎駅周辺の整備、交流拠点施設建設工事の着工、長崎市新庁舎の建設、県庁舎跡地の新たな文化施設の整備、地域コミュニティ連絡協議会設立など、将来のまちづくりの基盤をつくる施策が形として見えてきます。今後とも、住民負担にふさわしい税金の有効活用を努めます。本年も皆様のご指導・ご鞭撻を願います。念申し上げ、新年のご挨拶といたします。寒さ厳しき折、お身体ご自愛ください。

長崎市議会議員 井上 重久



2021年度併用開始を目指す交流拠点施設(MICE)イメージ

お勤の備忘録

11月~12月



びわっこ杯少年空手道勝ち抜き戦 (平成30年11月18日、長崎県立総合体育館)



第16回子どもゆめフェスティバル2018 (平成30年11月17日、県立総合体育館サブアリーナ)



長崎市戦没者追悼式 (平成30年11月1日、平和会館ホール)



第20回福田ロードレース大会 (平成30年12月2日、長崎サンセットマリナ)



グリーン作戦in稲佐山 (平成30年11月25日、稲佐山公園)



第4回福田小学校区コミュニティワークショップ (平成30年11月23日、福田小学校体育館)



関連労連長崎地連第22回総会 (平成30年12月14日、長崎地本労働会館)



平成30年長崎入港216隻目の コスタ・ネオ・ロマンチカ (平成30年12月13日、松が枝埠頭)



第6回マリナシティ自治会餅つき大会 (平成30年12月9日、マリナシティ管理棟前)

## 2019年(平成31年)干支の置物「イノシシ」

この干支の置物「イノシシ(亥)」は、雲仙市小浜町の「よるこびの里」の皆さんが製作した「猪突躍進」をイメージした作品です。干支の亥(イノシシ)は、十二支では最後の12番目、猪突猛進という言葉で知られ、イノシシの特徴は勇気と冒険。縁起話は、猪の肉は万病を防ぐと言われ、無病息災の象徴とされています。本年もご健康で幸多き年でありますようにご祈念申し上げます。



編集後記

▼昨年12月、フランススコローマ法王が2019年冬に訪日の意向を示したニュースが流れた。唯一の被爆国である長崎・広島島の被爆者やカトリック信者、多くの関係者にとって喜ばしいことだ。1981年2月雪の日に長崎を訪問した、故ヨハネパウロ2世以来2度目となる。

昨年7月、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録され、法王来日に大きな期待が寄せられていた。被爆地長崎から「核兵器廃絶、平和を願うメッセージ」を世界に発信してほしい。

▼長崎市では、この2年半の間に住民投票を求める直接請求が5回もあった。それぞれの立場での考えや市民がふるさとの将来を思う署名数を重く受け止め、議会としても議会議決を経ないで住民投票を実施できる、制度新設について検討する必要があるのではないかと?

なぜ5回も直接請求がなされたのか? その要因を考えながら、議会活動のなかで反映して行きたい。本年の干支は亥(イノシシ)、「猪突躍進」目標に向かって、まっしぐらに突進していく、そんな勢いのある年にしたい。

ご相談は お気軽に!

長崎市議会議員 井上 重久

自宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553  
 生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985  
<http://inoueshigehisa.net/>

補正総額約100億7,654万4千円(特別会計含む)、61の議案を可決・同意!



補正予算の主な内容

平成30年第4回長崎市議会定例会は、11月27日から12月14日までの18日間の日程で開催されました。補正予算は、来年度中に全市立小中学校に設置予定の空調設備関連費など一般会計補正予算89億9,383万6千円や、介護保険事業など特別会計補正予算10億8,257万5千円、公営企業会計補正予算13万3千円の総額100億7,654万4千円が上程され可決しました。

条例改正では、「長崎市の交流拠点施設(MICE)建設に凍結に関する住民投票条例については、議長を除く記名投票の結果、賛成12、反対25の反対多数で否決、継続審査となっていた「長崎市地域におけるまちづくりの推進に関する条例案」は、条例施行日を11月から来年3月に変更するなどして修正可決しました。

また、学校給食その他の給食の実施及び学校給食費の徴収、被爆樹木の保存整備事業費補助金の財源に充てるための基金設置、長崎原爆資料館の管理について指定管理制度を導入する一部を改正する条例など可決・承認しました。

◆基金積立金 クスノキ基金

450万3千円

福山雅治氏がホームページやコンサート等で呼びかけ、全国の方から寄せられた(株)アミューズを窓口とする「クスノキ基金」が、本市に寄附されることから、新たに設置する「クスノキ基金」に積み立てるもの。

◆高齢者施設開設準備費補助金

2,235万6千円

高齢者施設開設準備経費の一部について、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業

◆観光施設災害復旧費

現年度災害分:2,400万円

平成30年9月1日の落雷により被災した市有施設を復旧するもの。  
稲佐山山頂展望台ライトアップ設備等:2,000万円  
稲佐山光のトンネル:400万円

◆小・中学校校舎等維持補修費

1,137万4千円

平成31・32年度に外壁改修工事等を予定している市立小・中学校について、外壁等仕上塗材の石綿含有の有無を調査するための経費を増額するもの。

◆調査箇所

中学校 5校

◆調査箇所

小学校 9校

◆小・中学校空調設備整備事業費

42億8,210万円

市立小学校の普通教室及び理科室・音楽室等の特別教室に空調設備を整備するもの。

◆対象校

中学校 38校

◆対象校

小学校 60校

◆事業期間

平成30・31年度

地域づくり・人口減少対策特別委員会(総括質疑)



第4回福田小学校区コミュニティワークショップ

質問:地域コミュニティ連絡協議会設立に向けた地区の状況は?  
答:モデル地区として6地区が、まちづくり計画に基づく事業に取り組み、地域コミュニティを支えるしくみの立ち上げにおける課題の抽出や市の支援のあり方について検証を行っている。協議会設立のための準備委員会設立済み地区は12地区、準備委員会設立に向け検討を進めている地区が

環境経済委員会報告(要旨) 12月6日~10日

◆がんばらば長崎市応援寄附推進費

1億739万9千円

ふるさと納税制度により実施している「がんばらば長崎市応援寄附金」の受入額の増が見込まれるため、返礼品等に係る経費を増額するもの。

◆文化施設整備事業費ブリックホール

5,200万円

台風第25号の強風により外壁タイルの一部が剥離したことから、事故防止のため全館の外壁タイルの点検及び補修を行う経費を増額するもの。



〈所管事項調査〉

長崎市野母崎高浜海岸交流施設の指定管理者の更新の方針について、仕組みを見直す。  
「あぐりの丘(四杖町)」の今後の方向性について、従来の「農業体験施設から「子どもの遊び場」へ転換し、指定管理者制度を導入するなど



地域づくり・人口減少対策特別委員会

質問:市職員の地域活動の参加は?  
答:職員が地域活動に参加することで市民起点の考え方が身につくこと、公務を通じての知識や経験が地域活動に生かされる場面もあると考えている。  
現在の取組みは、新規採用

質問:基幹製造業への長崎市・長崎県等の支援は?  
答:長崎市では、年平均3%以上の労働生産性の向上が見込まれることを条件とし

質問:造船・造機分野の技術を活かした海洋再生エネルギー分野への対応は?  
答:海洋再生エネルギー産業は、本市の基幹産業である造船業で培ってきた技術を転用できることから、長崎市としても新たな成長が期待される重要な産業の一つとして位置づけている。  
海洋産業については、既存の造船業、流通業、水産業、レジャー産業だけでなく海洋再生エネルギー産業など多様な産業があり、相互連携による複合的な産業の場、研究の場としての可能性を秘めているので、その振興に向けて長崎市として何ができるのか、しっかりと見極めたい。  
「新分野進出の支援」として、海洋再生エネルギーをはじめとする新事業への進出について、可能性調査や人材育成などに要する経費を支援している。

質問:基金積立金 クスノキ基金  
答:福山雅治氏がホームページやコンサート等で呼びかけ、全国の方から寄せられた(株)アミューズを窓口とする「クスノキ基金」が、本市に寄附されることから、新たに設置する「クスノキ基金」に積み立てるもの。  
質問:高齢者施設開設準備費補助金  
答:高齢者施設開設準備経費の一部について、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所  
質問:小・中学校校舎等維持補修費  
答:平成31・32年度に外壁改修工事等を予定している市立小・中学校について、外壁等仕上塗材の石綿含有の有無を調査するための経費を増額するもの。  
質問:調査箇所  
答:中学校 5校、小学校 9校  
質問:小・中学校空調設備整備事業費  
答:市立小学校の普通教室及び理科室・音楽室等の特別教室に空調設備を整備するもの。  
質問:対象校  
答:中学校 38校、小学校 60校  
質問:事業期間  
答:平成30・31年度